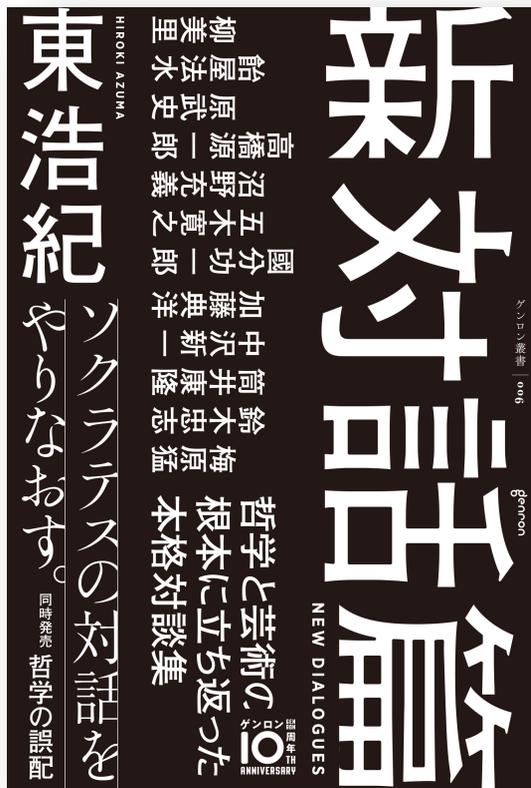


東浩紀最新刊 5/1 同時発売!!

株式会社ゲンロン(本社:東京都品川区 代表取締役社長:上田洋子)は、ゲンロン創業者で、批評家・作家の東浩紀の新作『新対話篇』『哲学の誤配』の2冊を、2020年5月に同時刊行いたします。



『新対話篇』(ゲンロン叢書006)は、東浩紀が2012年以降に行なった対談・鼎談から、哲学と芸術をテーマとするものを厳選した対談集です。各分野で活躍する第一人者たちと縦横に語り合うことで、人文知の再起動に挑みます。飴屋法水氏、柳美里氏との新規収録鼎談も掲載しています。

『哲学の誤配』(ゲンロン叢書007)は韓国の読者に向けて語った2つのインタビューと、中国・杭州での最新講演を収録した書籍です。本書は日韓で並行して出版されており、韓国語版に韓国の若手論客パク・カブン氏が寄せた解説も掲載しています。誤配から観光へ展開した東の思想を解き明かす、必読のテキストです。

両書は、ゲンロンが2018年からスタートさせた人文書シリーズ「ゲンロン叢書」の第6弾、第7弾となっています。同シリーズでは、小松理虔『新復興論』(第18回大佛次郎論壇賞受賞)、石田英敬+東浩紀『新記号論』などの書籍を刊行しています。

東浩紀(あずまひろき)

1971年東京生まれ。批評家・作家。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。株式会社ゲンロン創業者。専門は哲学、表象文化論、情報社会論。著書に『存在論的、郵便的』(1998年、第21回サントリー学芸賞 思想・歴史部門)、『動物化するポストモダン』(2001年)、『クォンタム・ファミリーズ』(2009年、第23回三島由紀夫賞)、『一般意志2.0』(2011年)、『ゲンロン0 観光客の哲学』(2017年、第71回毎日出版文化賞 人文・社会部門)、『ゆるく考える』(2019年)、『テーマパーク化する地球』(2019年)ほか多数。

東浩紀『新対話篇』 ゲンロン叢書 006

ソクラテスの対話をやりなおす。哲学と芸術の根本に立ち返った本格対談集。



【目次】

はじめに

草木の生起する国 梅原猛

テロの時代の芸術 鈴木忠志 司会=上田洋子

SFから神へ 筒井康隆

種の慰霊と森の論理 中沢新一

文学と政治のあいだで 加藤典洋

正義は剰余から生まれる 國分功一郎

デラシネの倫理と観光客 五木寛之+沼野充義

歴史は家である 高橋源一郎

国体の変化とジェンダー 原武史

生きることとつくること 飴屋法水+柳美里

【書籍紹介】

サイズ：四六判 | ページ数：384 ページ | ISBNコード：978-4-907188-36-8 | 定価：2400円+税
発売日：2020年5月1日 | 装幀：水戸部功 | 電子版：あり(近日配信予定) | 発行所：株式会社ゲンロン

東浩紀『哲学の誤配』 ゲンロン叢書 007

誤配とは自由のことである。近くて遠い読者に向けたインタビュー&講演録。



【目次】

はじめに 東浩紀

第1の対話 批評から政治思想へ

第2の対話 哲学の責務

講演 データベース的動物は政治的動物になりうるか

解説 東浩紀との出会い パク・カブン

日本語版刊行によせて 安天

【書籍紹介】

サイズ：四六判 | ページ数：208ページ
ISBNコード：978-4-907188-37-5 | 定価：1800円+税
発売日：2020年5月1日 | 装幀：水戸部功
電子版：あり(近日配信予定) | 発行所：株式会社ゲンロン

著者の東浩紀が取材をお受けいたします。インタビューご希望のメディアの皆さまは、ゲンロンまでご連絡をお願いいたします。

【取材・書籍のお問い合わせ先】

株式会社ゲンロン 担当 横山宏介

東京都品川区西五反田1-16-6 イルモンドビル2F Tel : 03-6417-9230 Email : info@genron.co.jp